

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

無所属・参政党

代表者名

伊藤 正義

以下のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 0 日提出

|                  |                     |                               |
|------------------|---------------------|-------------------------------|
| 活動年月日            | 令和 7 年 3 月 2 4 日（月） |                               |
| 氏名               | 伊藤正義                |                               |
| 用務先<br>及び<br>内 容 | 1<br>3 月 2 4 日      | 用務先 京都府京都市<br>内 容 地方議員研究会 研修会 |
|                  | 2<br>月 日            | 用務先<br>内 容                    |
|                  | 3<br>月 日            | 用務先<br>内 容                    |
|                  | 4<br>月 日            | 用務先<br>内 容                    |
|                  | 備 考                 |                               |

## 政務活動報告書

|      |                        |
|------|------------------------|
| 日程   | 令和7年3月24日              |
| 場所   | 京都府京都市 京都 JA ビル        |
| 研修名  | 地方議員研究会 絶対的質問力、質問作成虎の巻 |
| 報告者名 | 無所属・参政党 伊藤正義           |

### 1. 研修内容

絶対的質問力、質問作成虎の巻

講師：元京都市議 元大正大学地域構想研究所客員教授  
村山祥栄氏

#### ●質疑作成のポイント

##### ・フィールドを選ぶ

市民、議員、当局に周知したい質問、大局観のある質問など

##### ・不満を形にする

問題とは理想と現実の差異である。問題はわかっているが  
解決策がわかっていないことが多い。

明確な目標値を設定し、差異を埋める。

市民の不満を把握して解決すること。

##### ・トレンドを掴む

現在、日本全体や岡崎市で問題となっていることは何かを把握しておくこと。

##### ・イメージと現実の差を埋める

世の中はイメージと偏見で満ち溢れている。

例：過去の歴史から考えても、人口の自然減は基本的に止められない。歴史は繰り返す。

少ない人口のまま適応していくのか、移民を入れていくのかなど考える必要がある。

##### ・課題発見力と調査遂行力

##### ・常日頃からアンテナを張り、課題問題を把握する。

新聞、ネット、書籍、陳情、市民との対話、行政職員との会話など

##### ・ゴールを決める

重要なのはゴール設定。「どうするのですか？」ではなく、「こうしたい、こうすべき」という提案型にすること。単なる状況確認の質問は NG。

##### ・情報収集を徹底する。

当局へのヒアリング、類似事例の調査など



- ・独自に調査して情報を収集する。

アンケート調査、現地調査、当事者ヒアリングなど

- ・質問を一回きりで終わらせない

次回の議会でさらに質問することを予告。進捗状況の質問など行う。

- ・課題に取り組む熱意と信念

人はその人の熱意に動かされる。また、信念がなければ最後までやり遂げられない。

- ・着目される質問にするために

数字を織り交ぜる。論理構成をしっかりと。誰もが「その通り」と思わせる部分を作る。独自の調査情報を織り交ぜる。

#### ●広報力の向上

- ・SNS とチラシ配布をうまく使う。
- ・役所の広報誌の情報をそのままは掲載するのは NG。
- ・自分にしか書けない原稿を書く。独自の情報、独自の視点で。
- ・自分が書きたいことより、市民が読みたいもの。
- ・チラシ配布はコンスタントに行うこと。

## 2. 考察

質問作りのために必要なこととして、市民が不満に思っていること、国や市が目指している理想と現実の差異をいかにして埋めるのか、世の中で問題・話題になっていることは何かを把握して、単なる状況把握の質問ではなく、こうしようという提案型の質問を行う必要があります。

そのためにも、現状を把握する、また、自分がある物事に対して抱いているイメージと現実が本当にあっているのかの調査、情報収集を徹底して行うことが必要です。

課題、不満、ギャップを把握するために足を使って調査する。そして、より注目してもらえるような効果的な質問内容にし、どんな岡崎市にしたいのか目指す姿を提案する質問を作っていきたいと思います。これらは当たり前のことですが、なかなかできていないことでもあります。少しでも市民の想いを汲んだ質問、より良い岡崎に近づけるための質問ができるように取り組んでいきます。